

現代社会と文化, 現代社会をとらえる枠組み

学習1 情報化が進む現代

- パソコン、スマートフォンやインターネットなどが一体となって進化している情報通信技術（ICT）の発達によって、ソーシャルメディアを利用して世界中の人々と自由にコミュニケーションをとったり、多様な情報を入手・発信したりすることができるようになっています。社会において情報が果たす役割が大きくなっていく情報化が進展しています。
- 情報化の進展として、人工知能（AI）の急速な進化などによって産業や社会が大きな転換期を迎えています。
- 情報社会においては、個人情報の慎重な取り扱いや、情報を正しく判断して活用する力（情報リテラシー）が求められています。

学習2 グローバル化が進む現代

- 海外を訪れる日本人や日本を訪れる外国人の数は年々増えており、私たちと世界各国とのつながりは深まっています。そのような現代において、国際協調は欠かせないものになっています。
- グローバル化が進む現代社会では、世界各国との貿易を通して、さまざまな商品を簡単に手に入れることができます。貿易の活発化によって国際競争が加速すると、各国が競争力のある得意な産業に力を入れ、競争力のない不得意な産業については輸入にたよるという国際分業が行われるようになります。

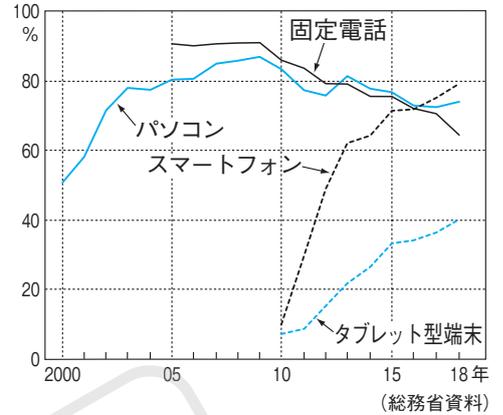
用語 * グローバル化…たぐさんの人、物、お金、情報などが国境を越えて行き交うことで、各国がたがいに依存を強め、世界の一体化が進むこと。

学習3 少子高齢化が進む現代

- 現代の日本では、1人の女性が産む子どもの数が減少し、平均寿命がのびたことによって少子高齢化が進んでいます。医療や年金などの社会保障費が増える一方で、働く世代1人あたりの負担が増え、大きな課題となっています。
- 家族の形は多様化しており、現在では、親と子ども、あるいは夫婦のみの核家族世帯や、一人暮らしの単独世帯が増えています。
- 少子高齢社会となっている日本では、高齢者などが生活しやすいよう公共施設をバリアフリー化する取り組みが求められています。

用語 * バリアフリー化…高齢者や障がいのある人が生活するのに物理的・精神的障がいとなるものを取り除くこと。

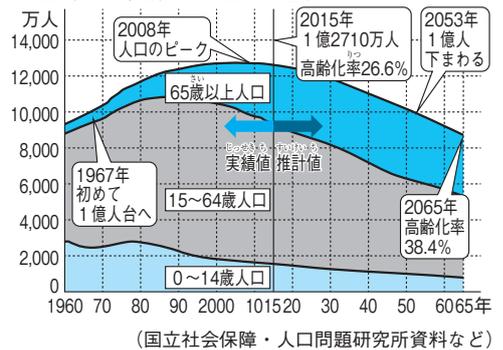
▼主な情報通信機器の保有状況



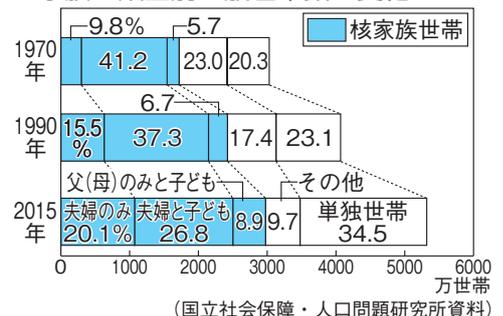
▼出国日本人数と訪日外国人旅行者数の推移



▼日本の年齢別人口の推移



▼家族の類型別一般世帯数の変化



学習4 生活に息づく文化

- 文化は、人々が地域の風土や伝統、歴史、他地域との交流などによって育て、伝え合ってきた生活様式や価値観などのことです。
- 文化には科学、芸術、宗教などの領域があります。科学技術の発展は人々の暮らしを向上させ、芸術は感受性を高めて人生を豊かにし、宗教は困難も少なくない人の世に安心感や精神的な豊かさをあたえてきました。
- グローバル化が進む現代では、文化の画一化も見られますが、おたがいに文化の違いを理解し、相手の文化を尊重する異文化理解が、多文化共生社会を目指すために求められています。

学習5 日本の伝統と文化

- 年中行事や、能、歌舞伎をはじめとする芸能などは、長い歴史の中で育まれ、伝えられてきた伝統文化です。少子高齢化や過疎化で存続が危ぶまれる文化もあり、国や都道府県などは文化財保護法に基づいて有形、無形の文化財の保護に努めています。

学習6 社会的存在として生きる私たち

- 私たちは、家族や学校、地域社会、企業、国家といった社会集団の中で生活しています。社会集団の一員として助け合い、尊重し合いながら生活を豊かにしていることから、人は社会的存在であるといわれます。
- 社会に暮らす人々の間では、考え方や意見の違いから対立が起こることがあります。このような場合、私たちは話し合いなどを通して合意を目指します。

学習7 効率と公正

- よりよい合意をつくるためには、「効率」と「公正」という2つの考え方に配慮することが大切です。

用語 * 効率…できるだけ少ない資源などをむだなく使うことで、全体として最大の利益を得られるような結果になっているかどうかを大切に考える。

* 公正…みんなが話し合いに参加しているか、一人一人に最大限配慮したものになっているかを問う考え方。

学習8 私たちときまり

- 同じような対立が起こるのを防ぐには、集団内や集団間できまり(ルール)を作っておくことが必要です。人々が合意してきまりをつくることを契約といいます。きまりを守ることでたがいの権利や利益が保障されます。また、みんなで決めたきまりである限り、それを守る責任と義務が生じます。

▼日本の主な年中行事

月	年中行事
1	正月 初詣・年賀 七草
2	節分
3	ひな祭り 春の彼岸 春祭り
4	灌仏会
5	端午の節句 田植え祭り
6	更衣
7	七夕 盂蘭盆・中元
8	盆おどり
9	菊の節句 秋の彼岸
10	更衣 秋祭り
11	七五三
12	除夜

▼合意を検討する観点

効率の側面

- ・問題の解決により得られる効果が、それにかけた時間・労力・費用に見合っているか。
- ・資源や費用にむだはないか。

公正の側面

- ・みんなが決定に参加したか(手続きの公正さ)。
- ・参加する機会が不当に制限されていないか(機会の公正さ)。
- ・得られる結果が不当ではないか(結果の公正さ)。

▼決定を行う方法の例

	長所	短所
全員一致	全員が納得して決められる	決めるのに時間がかかることもある
多数決	意見が反映される人の数の方が多い	少数意見が反映されにくい
代表者が決める	全員で決めるより時間がかからない	全員の意見がうまく反映されないこともある
第三者が決める	決めるのに時間がかからない	当事者が納得しないこともある

確認問題

1 ●図で確かめよう● 次の図の①～⑨にあてはまる語句を、下から選んで書きなさい。

(①) = 新年の無事を祈る。

(②) = 邪気を払うために豆をまく。

(③) = 女の子の成長を祝う。

春の(④)
先祖の墓参りをする。

(⑤) = シャカの誕生を祝う。

(⑥) = 男の子の成長を祝う。

秋の(④)
先祖の墓参りをする。

菊の節句

更衣

(⑦) = 短冊などを笹に飾る。

(⑧) = 先祖を供養する。

① []
② []
③ []
④ []
⑤ []
⑥ []
⑦ []
⑧ []
⑨ []

たなはた 七夕 彼岸	せつぶん 節分 初詣	かんぶつ え 灌仏会 七五三	う ら ぼん 盂蘭盆 ひな祭り	たんご 端午の節句
------------------	------------------	----------------------	-----------------------	--------------

2 ●一問一答● 次の問いに答えなさい。

- (1) たくさんの人、もの、お金、情報などが、国境を越えて行き交うことで、各国がたがいに依存を強め、世界の一体化が進むことを何というか。 []
- (2) 各国が競争力のある得意な産業に力を入れ、競争力のない不得意な産業については輸入にたよることを何というか。 []
- (3) 親と子ども、あるいは夫婦のみで構成されている家族を何というか。 []
- (4) 高齢者や障がいのある人が生活するのに、物理的・精神的障がいとなるものを取り除くことを何というか。 []
- (5) 人々が地域の風土や伝統、歴史、他地域との交流などによって育て、伝え合ってきた生活様式や価値観を何というか。 []
- (6) (5)の1つで、人々の暮らしを向上させるのに寄与している領域を何というか。 []
- (7) 人々が合意してきまりをつくることを何というか。 []
- (8) 合意をつくる時、できるだけ少ない資源などをむだなく使うことで、全体として最大の利益を得られるようになっていくかどうかを大切にしている考え方を何というか。 []

基本問題

1 右のグラフを見て、次の問いに答えなさい。

□(1) グラフのA・Bにあてはまるものを、次のア～ウから選びなさい。

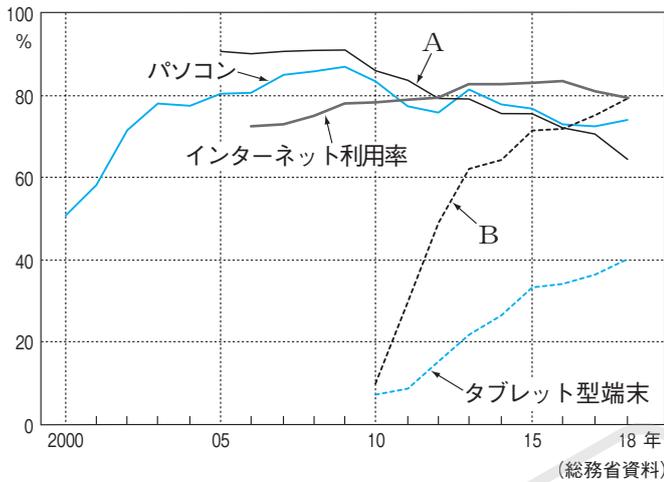
- ア 固定電話
- イ FAX
- ウ スマートフォン

□(2) 2018年のタブレット型端末の保有率は約何%か。

□(3) グラフにあるようにインターネットが普及することによって、人々の暮らしは

どのように変わったか。あてはまるものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 年少人口の割合が低く老年人口の割合が高い、少子高齢社会になった。
- イ 高度経済成長とよばれるいちじるしい発展をとげるようになった。
- ウ 世界のさまざまなところで自然災害や戦争が起こるようになった。
- エ 商品やチケットの購入を簡単に行うことができるようになった。

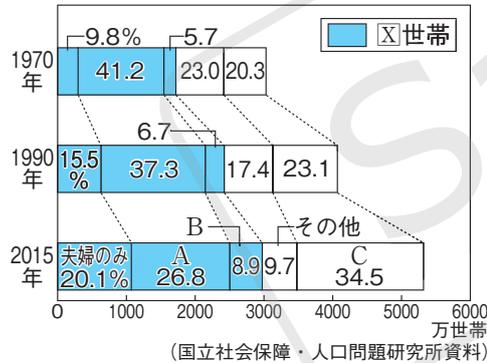


1

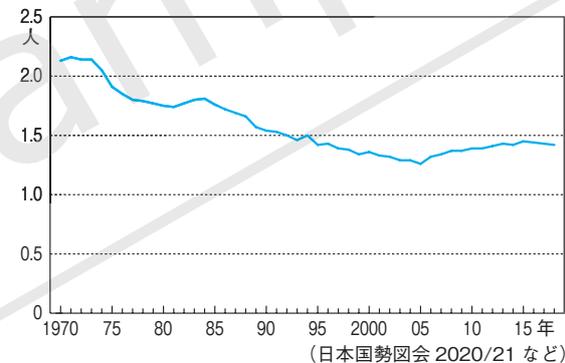
(1)	A	
	B	
(2)	約	%
(3)		

2 次の図を見て、あとの問いに答えなさい。

図Ⅰ 家族の類型別一般世帯数の変化



図Ⅱ 一人の女性が生涯に産む子どもの数



□(1) 図Ⅰに [] で示されたⅩの家族を何というか。

(2) 次の①～③の世帯は、図ⅠのA～Cのどれにふくまれるか。

- ① 高齢者が一人で住む世帯
- ② 父親と母親、子ども2人で住む世帯
- ③ 母親とその子どもが住む世帯

□(3) 図Ⅱのように、一人の女性が生涯に産む子どもの数が減少し、年少人口が少なくなっている傾向を何というか。

(4) 次の①～④の文のうち、正しいものには○、誤っているものには×を書きなさい。

- ① 女性の社会進出で共働きが増えたため、三世帯家族の割合は高くなってきた。
- ② 少子高齢社会で長生きする人が増えるため、若い世代の経済的負担は小さくなる。
- ③ 家族生活が多様化してきたため、地域の住民との助け合いは必要でなくなった。
- ④ 子どもの保育や高齢者の介護は大変であるため、家族や親族のほか、地方公共団体や国の支援が必要である。

2

(1)	
(2)	①
	②
	③
(3)	
(4)	①
	②
	③
	④

練習問題

1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

近年、情報通信技術である (①) が進歩したことにより、情報ははたらきが大きな意味を持つようになる情報社会へと変化するとともに、④ たくさんの物、お金、情報などが国境を越えて行き交うようになった。このような⑤ 情報化の進展は、私たちの生活にさまざまな恩恵をもたらした反面、コンピュータによる情報の受発信により、人に知られたいくつかの情報が流出するという問題なども出てきている。情報社会を生きる私たちには、(②) の取り扱いに十分な注意を払ってプライバシーを保護することや、情報を正しく判断して活用する「情報 (③)」が求められている。

□(1) 文中の①～③にあてはまる語句を書きなさい。ただし、①は情報通信技術の略語をアルファベットで書きなさい。

□(2) 下線部④について、次の文中のA～Cにあてはまる語句を書きなさい。

たくさんの物、お金、情報などが国境を越えて行き交うことで (A) 化が進み、企業間の国際 (B) が高まる。国際 (B) が加速すると、得意な産業に力を入れる一方、不得意な産業については輸入にたよる国際 (C) が行われるようになる。

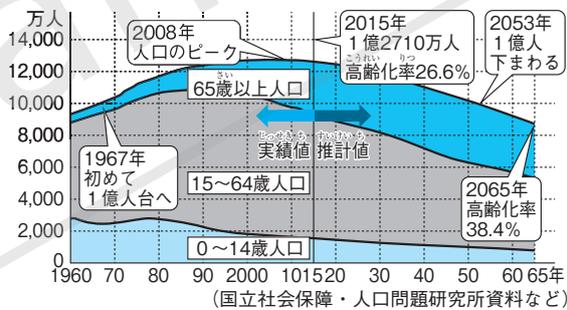
□(3) 下線部⑤により が急速に進化し、言語の理解や問題解決など、これまで人間にしかできなかったことを、コンピュータなどに代行させることができるようになってきている。 にあてはまる語句を書きなさい。

1

(1)	①	
	②	
	③	
(2)	A	
	B	
	C	
(3)		

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

右のグラフは、日本の年齢別人口の推移を表している。日本の人口は (a) 年をピークに減り始めている。また、(b) 歳の年少人口の割合が低く、(c) 歳以上の老年人口の割合が高くなっている。



□(1) 文中の a～c にあてはまる数字を書きなさい。

(2) 文中の下線部について、次の問いに答えなさい。

□① 下線部のような社会を何というか。

□② 下線部のような状況が今以上に進むと、どんなことが起こると考えられるか。次のア～エから選びなさい。

ア 情報の伝達量が減る。

イ 若者の経済的負担が減る。

ウ 医療費が減る。

エ 労働人口が減る。

□(3) 日本の人口に関する次のア～エの項目の中で、それぞれの項目の数値を1960年と2015年とで比較した場合、2015年の方が小さいものを選びなさい。

ア 1世帯あたりの人数

イ 女性が結婚する平均年齢

ウ 1年間に日本に入国した外国人の数

エ 男性の平均寿命

2

(1)	a	
	b	
	c	
(2)	①	
	②	
(3)		

